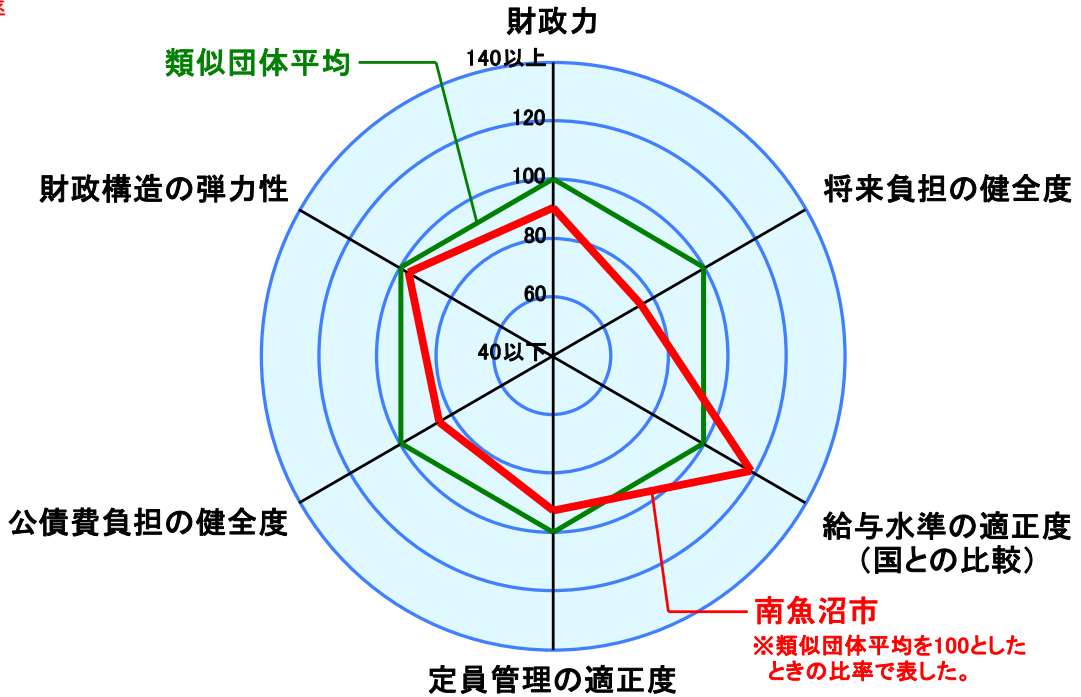
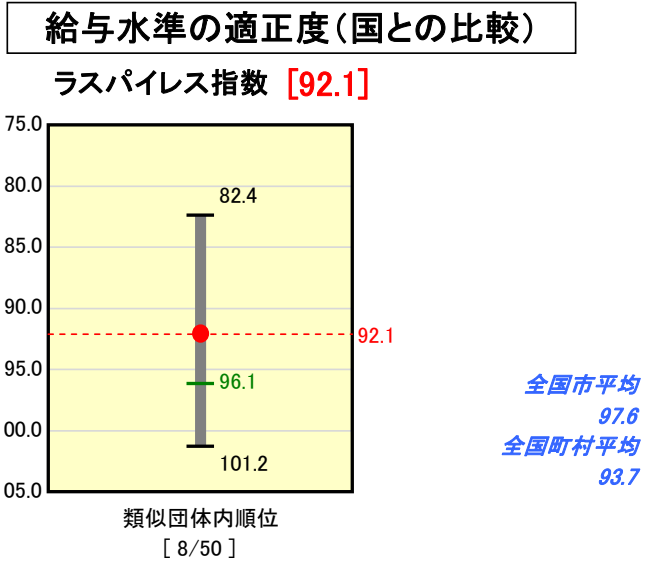
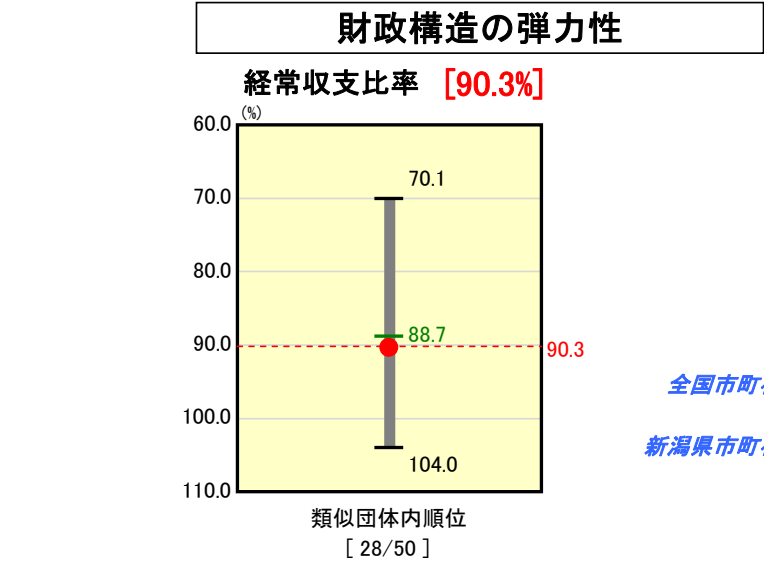
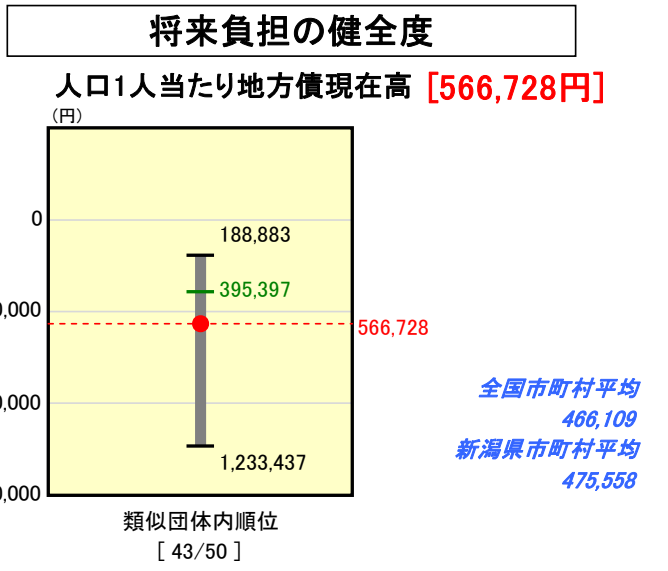
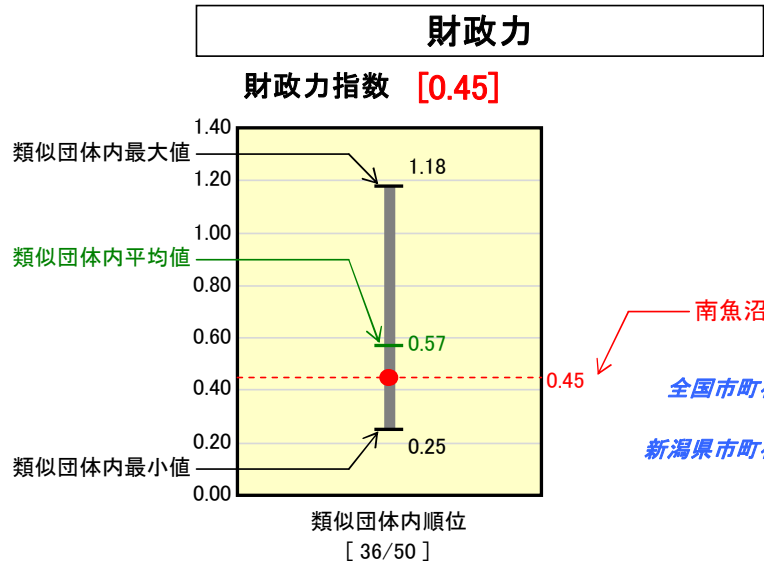


# 市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

## 新潟県 南魚沼市

人口	42,736人(H17.3.31現在)
面積	394.70 km <sup>2</sup>
歳入総額	20,904,871千円
歳出総額	20,476,302千円
実質収支	384,136千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

### 分析欄

財政力指数：長引く景気低迷により、個人住民税や市内法人の住民税が減収していることから、近年低下傾向にあり、類似団体平均を0.12ポイント下回っている。

経常収支比率：市税や交付税の減少と、扶助費、繰出金の増加により類似団体平均を1.6ポイント上回っている。

起債制限比率、人口1人当たり地方債現在高：道路などの社会基盤整備に投資した土木関係地方債や、学校整備による教育関係地方債の影響が大きく、いずれの数値も類似団体平均を上回っている。

ラスパイレス指数、人口1,000人当たり職員数：類似団体に比較して私立保育園が少ないため公立保育園職員数が多い。今後民営化を進めることで、低減を図る。

南魚沼市は、平成17年10月1日に塩沢町を編入合併し、平成18年3月31日には南魚沼地域広域連合の解散に伴いその事務をすべて承継することになる。平成17年12月には、今後継続的な市制運営ができる財政基盤を確立するため、財政健全化計画(平成18年度から5か年計画)を策定した。主な内容は、市税や各種料金の収納率向上を図る(5か年で6億円、以下人件費以外は全て5か年目標数値)、退職者不補充や、職員の給与カットによる人件費の削減(24億円、給与カットは3か年)、内部管理経費の削減(7億円)、単独事業を圧縮するなど投資的経費の抑制(11億円)、民間委託の推進や補助・負担金の見直しなどの行政サービスの明確化(16億円)、特別会計への繰出金の見直し(5億円)などである。また定員適正化については、編入合併した塩沢町を含めた定員適正化計画を平成18年3月に策定し、南魚沼地域広域連合を含めた計画を平成18年度中に策定することで、より効率的な行政運営を目指す。

